

「第2次ツキノワグマ保護管理計画」の変更について

1 趣旨

県では、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「鳥獣保護法」という。）に基づき、「第2次ツキノワグマ保護管理計画」を策定しているが、その計画期間について延長しようとするものである。

2 現行の第2次ツキノワグマ保護管理計画の概要

本県に生息するツキノワグマについて、科学的・計画的な保護管理を実施することにより、地域個体群の長期にわたる安定的な維持並びに人身被害の防止及び農林業被害の軽減を図り、人とツキノワグマとの適切な関係を構築するため、平成19年度4月1日から平成24年3月31日までを計画期間として保護管理を実施しているもの。

計画期間については、上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間と整合しているもの。

3 変更案の要旨

第2次ツキノワグマ保護管理計画については、平成23年度を終了年度とし、平成24年度からは次期計画である「第3次ツキノワグマ保護管理計画」の施行に向け準備を進めていたところだが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、次期計画策定に係る生息頭数調査の延期を余儀なくされたこと、上位計画である次期鳥獣保護事業計画の策定が1年繰り延べされたことなどから、「第3次ツキノワグマ保護管理計画」の策定を1年繰り延べざるを得ない状況となったもの。

上記を受け、次期計画策定までのツキノワグマ保護管理の空白を回避するため、現計画である「第2次ツキノワグマ保護管理計画」の計画期間を1年間延長し、平成25年3月31日までと変更するもの。

4 計画変更の実施時期

平成23年12月26日

第2次ツキノワグマ保護管理計画変更

第2次ツキノワグマ保護管理計画を次のとおり変更する。

変更前	変更後
1・2 [略]	1・2 [略]
3 計画期間等	3 計画期間等
(1) 計画期間 上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間に合わせて、平成19年4月1日から平成 <u>24</u> 年3月31日までとする。	(1) 計画期間 上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間に合わせて、平成19年4月1日から平成 <u>25</u> 年3月31日までとする。
(2) [略]	(2) [略]
4～8 [略]	4～8 [略]

「第三次シカ保護管理計画」の変更について

1 趣旨

県では、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「鳥獣保護法」という。）に基づき、「第三次シカ保護管理計画」を策定しているが、その計画期間について延長しようとするものである。

2 現行の第三次シカ保護管理計画の概要

本県に生息するシカについて、科学的・計画的な保護管理を実施することにより、地域個体群の健全な維持、農林業被害の低減、生息域拡大の抑制を図り、もって人とシカとの適切な関係の構築に資するため、平成19年度11月15日から平成24年3月31日までを計画期間として保護管理を実施しているもの。

計画期間については、上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間と整合しているもの。

3 変更案の要旨

第三次シカ保護管理計画については、平成23年度を終了年度とし、平成24年度からは次期計画である「第四次シカ保護管理計画」の施行に向け準備を進めていたところだが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、次期計画策定に係る生息状況調査等の延期を余儀なくされたこと、上位計画である次期鳥獣保護事業計画の策定が1年繰り延べされたことなどから、「第四次シカ保護管理計画」の策定を1年繰り延べざるを得ない状況となったもの。

上記を受け、次期計画策定までのシカ保護管理の空白を回避するため、現計画である「第三次シカ保護管理計画」の計画期間を1年間延長し、平成25年3月31日までと変更するもの。

4 計画変更の実施時期

平成23年12月26日

第三次シカ保護管理計画

第三次シカ保護管理計画を次のとおり変更する。

変更前	変更後
1・2 [略]	1・2 [略]
3 計画の期間等	3 計画の期間等
(1) 計画の期間 計画の期間は、上位計画である第10次鳥獣保護事業計画との整合を図るため、平成19年11月15日から平成 <u>24</u> 年3月31日までとする。	(1) 計画の期間 計画の期間は、上位計画である第10次鳥獣保護事業計画との整合を図るため、平成19年11月15日から平成 <u>25</u> 年3月31日までとする。
(2) [略]	(2) [略]
4～8 [略]	4～8 [略]

「第2次カモシカ保護管理計画」の変更について

1 趣旨

県では、鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律（平成14年法律第88号。以下「鳥獣保護法」という。）に基づき、「第2次カモシカ保護管理計画」を策定しているが、その計画期間について延長しようとするものである。

2 現行の第2次カモシカ保護管理計画の概要

ニホンカモシカについて、学術的価値に配慮しつつ科学的・計画的な保護管理を実施することにより、岩手県内に生息する各地域個体群の安定的な維持及び農林業被害の軽減を図り、もって人とカモシカのとの適切な関係の構築に資するため、平成19年度4月1日から平成24年3月31日までを計画期間として保護管理を実施しているもの。

計画期間については、上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間と整合しているもの。

3 変更案の要旨

第2次カモシカ保護管理計画については、平成23年度を終了年度とし、平成24年度からは次期計画である「第3次カモシカ保護管理計画」の施行に向け準備を進めていたところだが、平成23年3月11日に発生した東日本大震災の影響により、次期計画策定に係る生息状況調査の延期を余儀なくされたこと、上位計画である次期鳥獣保護事業計画の策定が1年繰り延べされたことなどから、「第2次カモシカ保護管理計画」の策定を1年繰り延べざるを得ない状況となったもの。

上記を受け、次期計画策定までのカモシカ保護管理の空白を回避するため、現計画である「第2次カモシカ保護管理計画」の計画期間を1年間延長し、平成25年3月31日までと変更するもの。

4 計画変更の実施時期

平成23年12月26日

第2次カモシカ保護管理計画

第2次カモシカ保護管理計画を次のとおり変更する。

変更前	変更後
<p>1・2 [略]</p> <p>3 計画期間等</p> <p>(1) 計画期間</p> <p>上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間に合わせて、平成19年4月1日から平成<u>24</u>年3月31日までとする。</p> <p>(2) [略]</p> <p>4～8 [略]</p>	<p>1・2 [略]</p> <p>3 計画期間等</p> <p>(1) 計画期間</p> <p>上位計画である第10次鳥獣保護事業計画の計画期間に合わせて、平成19年4月1日から平成<u>25</u>年3月31日までとする。</p> <p>(2) [略]</p> <p>4～8 [略]</p>